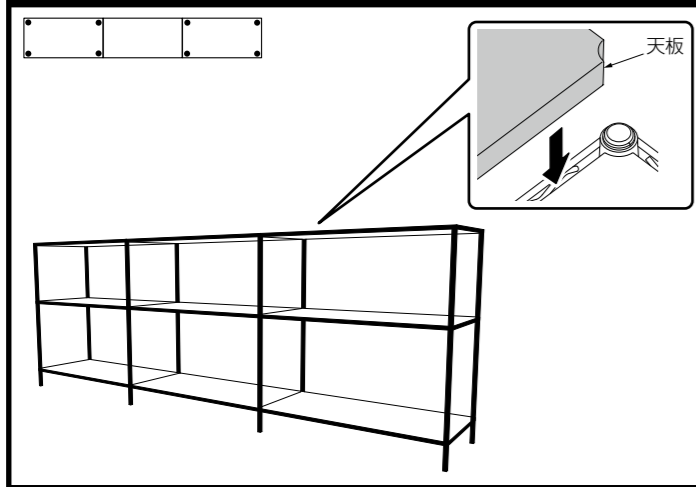


## ■ 連結バリエーション

※連結する棚の高さを同じレベルにしてください。  
 ※連結した際に天板同士で段差が生じる場合がございます。

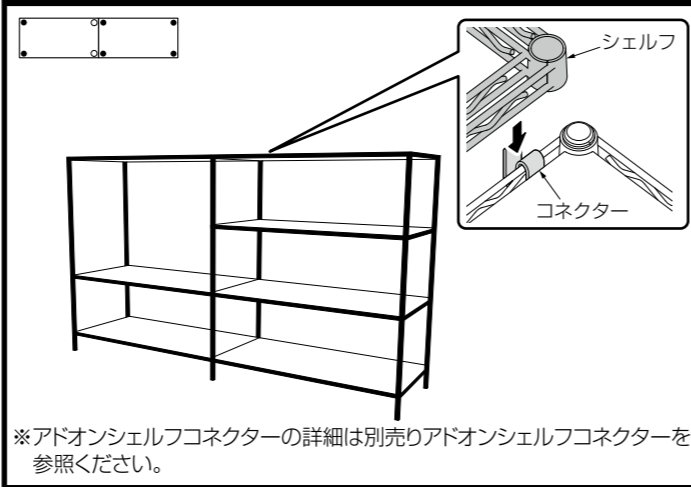
● ボール有  
 ○ ボール無

### 天板で連結の場合(並列)



天板を組み上がった棚のフレームと天板の間にはめ込みます。

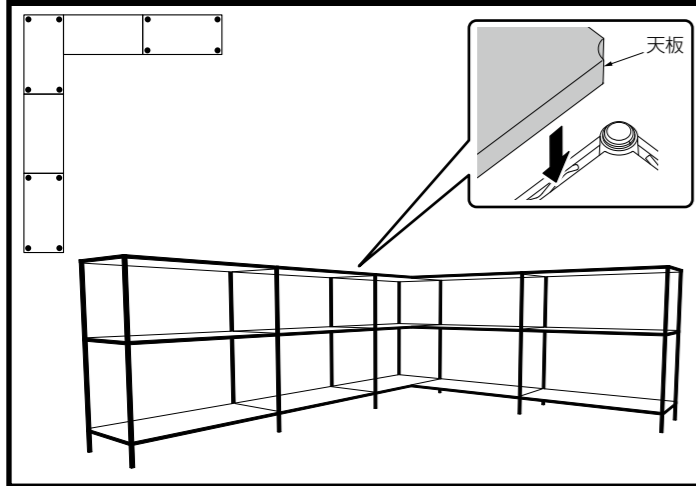
### アドオンシェルフコネクタで連結の場合(並列)



※アドオンシェルフコネクタの詳細は別売りアドオンシェルフコネクタを参照ください。

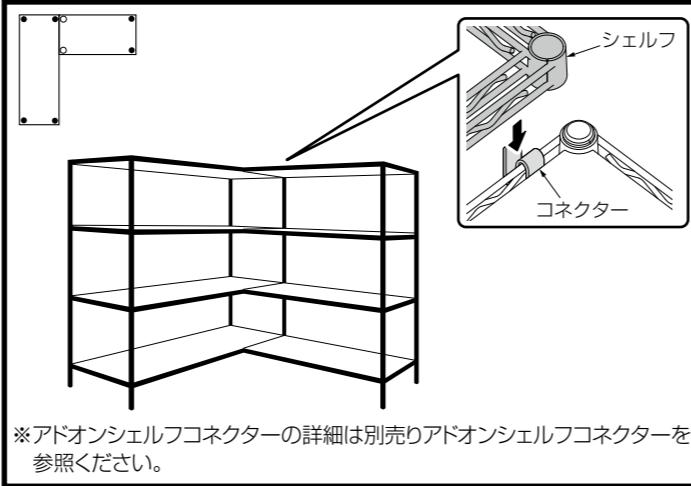
①コネクタを組み上がった棚のフレームと天板の間にはめ込みます。  
 ②シェルフをコネクタにはめ込みます。

### 天板で連結の場合(L字)



天板を組み上がった棚のフレームと天板の間にはめ込みます。

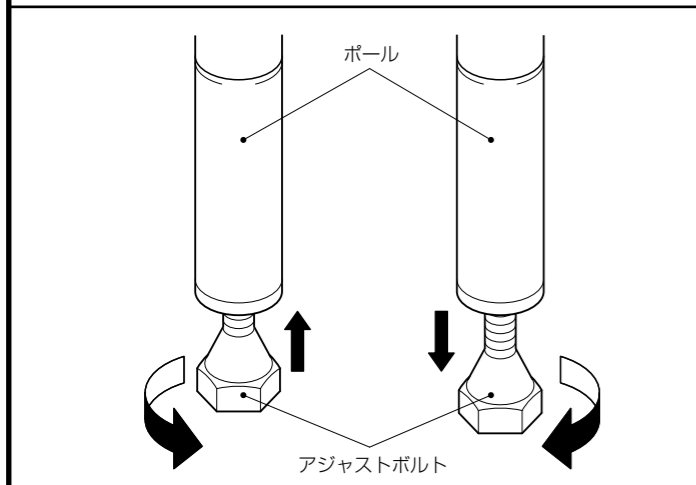
### アドオンシェルフコネクタで連結の場合(L字)



※アドオンシェルフコネクタの詳細は別売りアドオンシェルフコネクタを参照ください。

①コネクタを組み上がった棚のフレームと天板の間にはめ込みます。  
 ②シェルフをコネクタにはめ込みます。

### レベル調整のしかた



床が水平ではないときは、ボール下部先端のアジャストボルトを回して、ガタツキがないよう調整してください。

**ご注意** ガタつきや不安定なままでの使用は、転倒や物品落下の恐れがあります。棚が水平になるよう確実に調整を行ってからご使用ください。

# ERECTA BASIC SERIES

2025.08

## フラットシェルフ組立説明書

この度は、フラットシェルフをお買い上げいただきましてありがとうございます。  
 本製品を安全にお使いいただくために、この説明書をよくお読みいただき、内容をご理解のうえ注意事項を遵守していただくようお願いいたします。

### ご使用前に必ずお読みください

- 組み立て前に部品の不足・破損がないか、必ずご確認ください。
- 組み立ては「説明書」に記載の順序に従い、正しく組み立ててください。誤った組み立ては、破損やケガの原因になります。
- この製品は複数枚の組み付けが可能です。
- 本製品はベーシックシリーズと組み合わせて使用する製品です。他の製品との併用はできません。
- この組立説明書は組み立て後も保管してください。



警告

- 耐荷重を超えて物を載せないでください。この製品の耐荷重は垂直荷重(等分布)で100kgまでです。
- 棚にぶら下がったり、上に登ったりしないでください。ケガをしたり、破損につながります。
- 踏み台にするなど、棚の上には絶対に乗らないでください。転倒によるケガや破損など、大きな事故につながる恐れがあります。
- パソコン等電気機器を載せてご使用の場合は、その設置や配線については、当該機器の取扱説明書に従ってください。
- 本製品フレームに専用の天板以外は載せないでください。



注意

- 組み立て時、天板の折り曲げ部分に指などをはさまないようにご注意ください。
- テーパーダスリーブがズレたり、棚が水平になっていないなど、組み立てが不十分な場合はそのまま使用せず、もう一度組み立てなおしてください。
- 傾斜した場所や下が柔らかい場所など、不安定な場所には設置しないでください。物が落下して破損したり、転倒してケガをする恐れがあります。
- 柔らかく、傷みややすい床面の場合、キズつけてしまう恐れがありますので、引きずったりしないでください。
- 棚板には、不安定なものは載せないでください。落下して破損する原因となります。
- 棚位置の高さを変更する場合は、上に載っている物をすべて下ろしてから行ってください。物品の破損やケガの原因になります。
- 商品の改造は機能低下の原因になりますので、絶対におやめください。
- キャスターをつけての使用は、振動によりフレームにキズが発生する可能性があります。ご使用時はご注意ください。
- 下側から力が加わると天板が外れる恐れがあります。

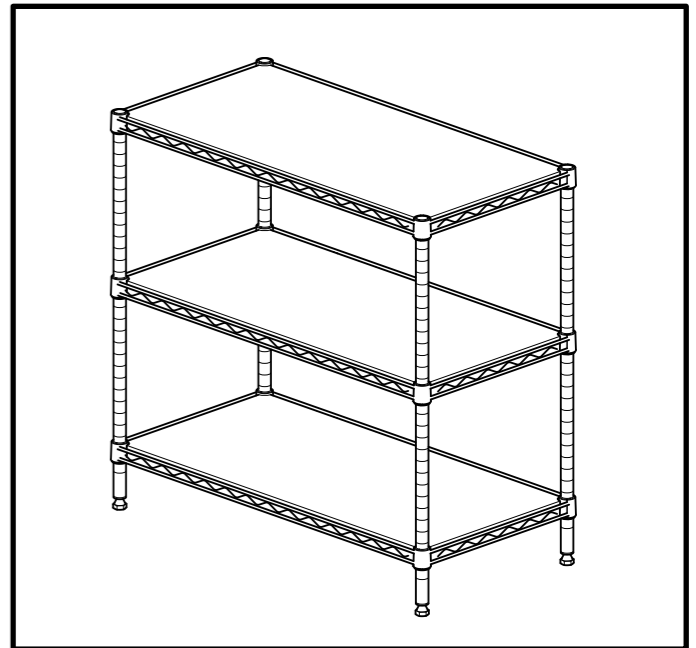
### フラットシェルフ天板についての注意事項



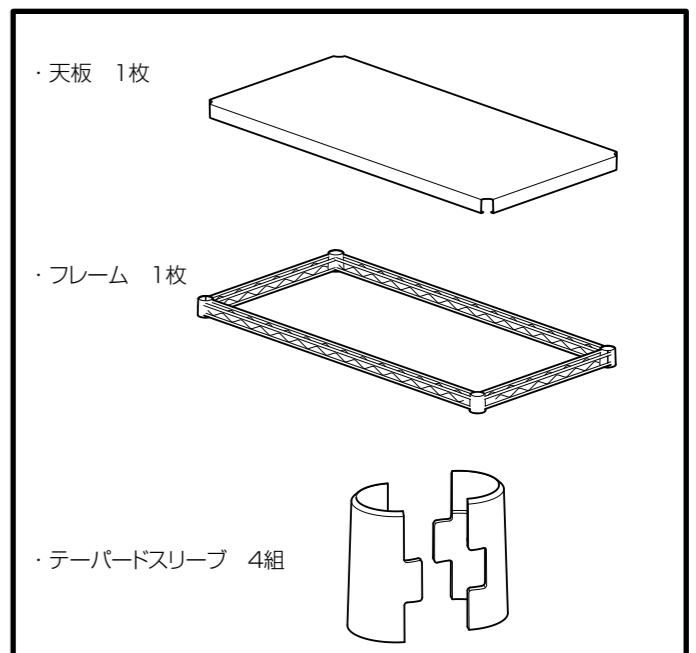
注意

- 清掃は薄めた中性洗剤を含んだ布を固く絞って、軽く拭いてください。シンナー等の有機溶剤の使用は、塗装表面を侵す恐れがあるため、避けてください。
- 水分が付着した場合、シミ、サビなどの原因になりますので必ず乾いた布で拭き取ってください。
- 刃物や先の鋭利なもので突いたりすると傷が付きやすくなります。
- 粘着テープ等を張り付けると表面塗装が剥がれる場合があります。
- 設置する機器の材質により、跡が付いたり、変色、張り付きが起こることがあります。

### ■ 組立例



### ■ 構成部品



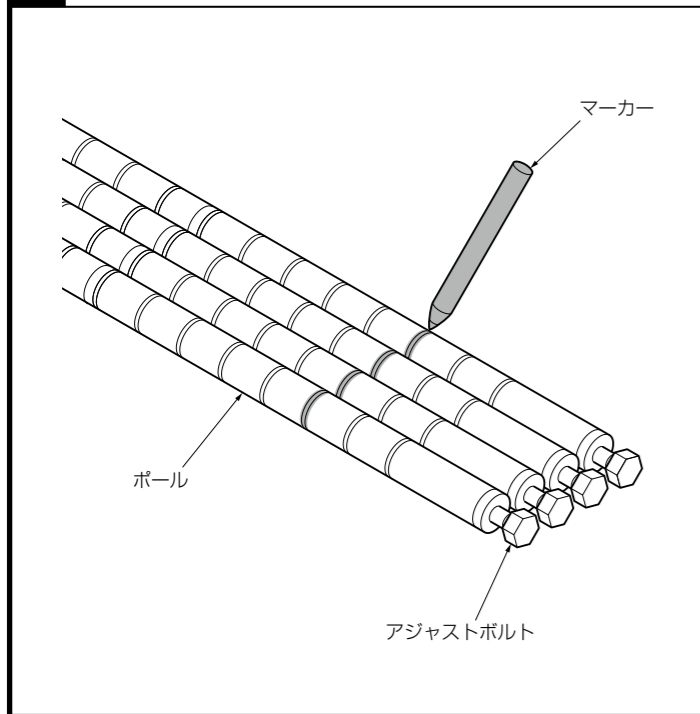
#### ● 組み立てにご用意いただくもの

- ・ プラスチックハンマーまたは木槌  
 (金属製の物を代用で使用する場合は、キズ、破損を防止するために必ずあて布、当て木などを施し、本製品を直接叩かないでください。)
- ・ マーカー等
- ・ 当て布または当て木

# ■組み立てかた

**ご注意** 製品や床を傷めないように組み立て取り外しに際しては、段ボール、布などを敷いて十分なスペースのある場所で行ってください。特に天井面にご注意ください。作業を行うときは、指などはさみ込んでケガをしないようにご注意ください。

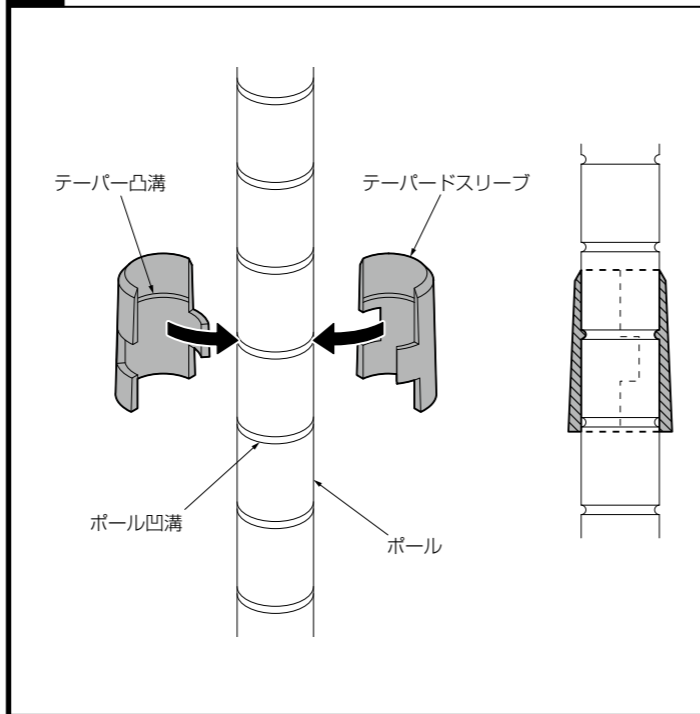
## 1 棚の位置決め



棚の取り付け位置を決めます。この時、マーカー等でポールに印をつけると便利です。ポールはアジャストボルトのある方が下になります。

**ご注意** ポールや棚を置くときは、壁に立てかけず、床面に横にして置いてください。転倒し床面や家具等を傷つけたり、ケガをする恐れがあります。

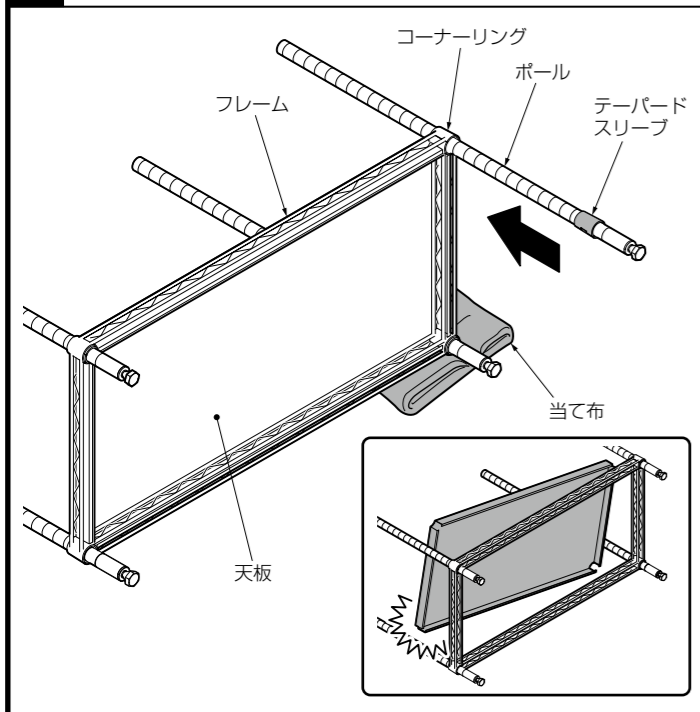
## 2 テーパードスリーブの取り付け



最下段のフレームの取り付け位置に合わせて、テーパードスリーブをポールの溝に取り付けます。

**ご注意** ポールとテーパードスリーブのかみ合いが悪いと、完全に固定できません。棚がずれたり、物が落下して破損やケガの原因になります。

## 3 最下段の組み付け

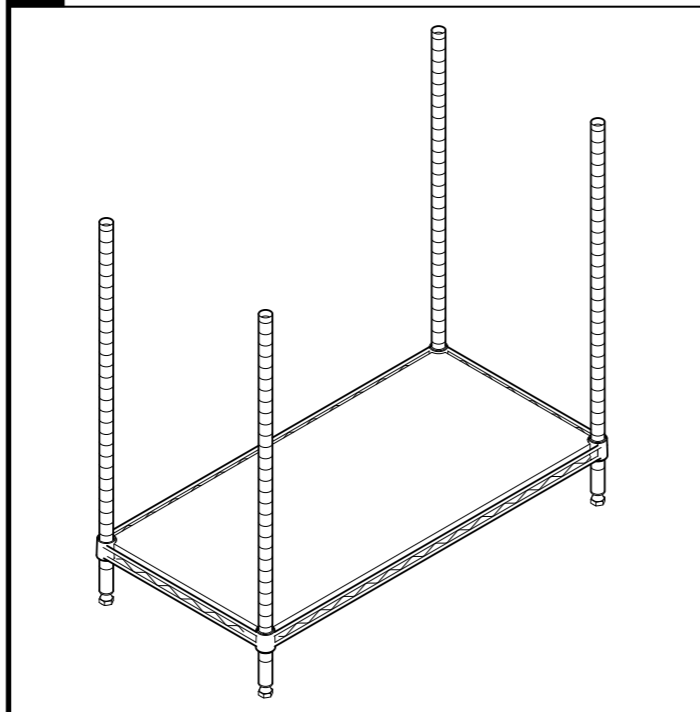


天板をフレームに取り付けた状態で棚を横にして、四隅のコーナーリングにテーパードスリーブがほとんど隠れるところまで、ポールをそれぞれ差し込みます。

**ご注意** ポールを差し込む際は、指などを挟まないようご注意ください。当て布等を棚の下に敷いてください。

**ご注意** 棚を起こす際、天板外れにご注意下さい。

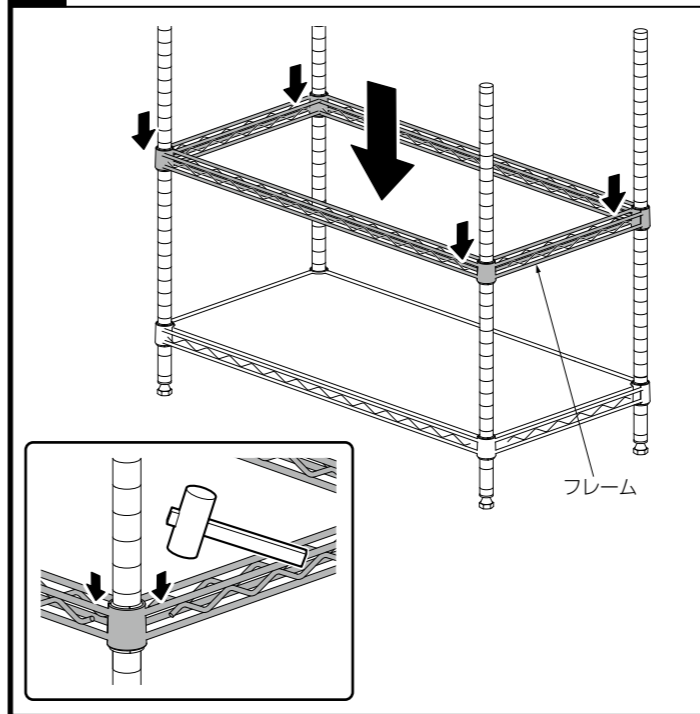
## 4 セットした棚を起こす



セットした棚を起こします。この時、テーパードスリーブがずれずに棚と正しくかみ合っているかどうか確認してください。

**ご注意** 安定性のある場所で組み立てを行ってください。起こした棚が転倒し、ケガや破損を招く恐れがあります。

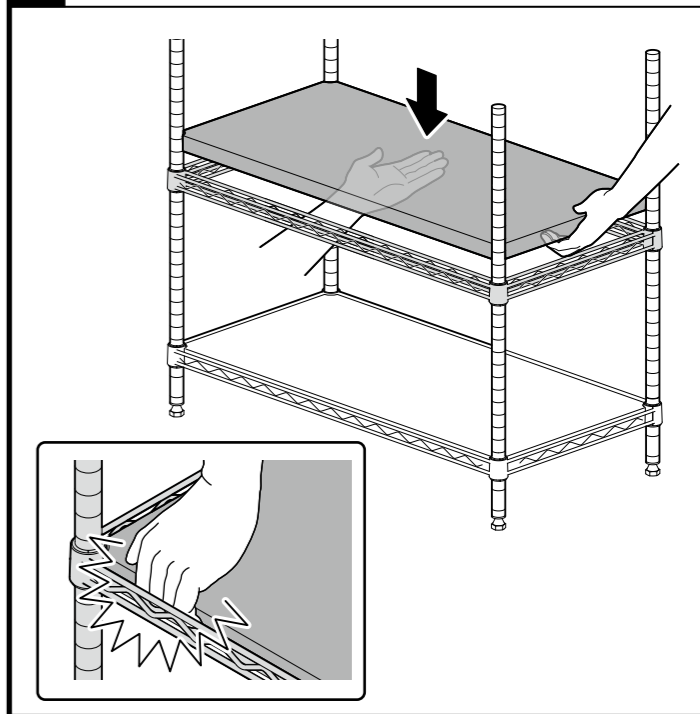
## 5 2段目以降フレーム組み立て



2 と同様に、ポールに2段目のテーパードスリーブをセットし、フレームのみを上から通してテーパードスリーブの位置まで差し込みます。フレームをプラスチックハンマー等でたたいて固定します。

**ご注意** プラスチックハンマーまたは木槌を使用する際、床を傷つける恐れがありますので、ポールと床の間に当て布などを敷いて床面を保護してください。

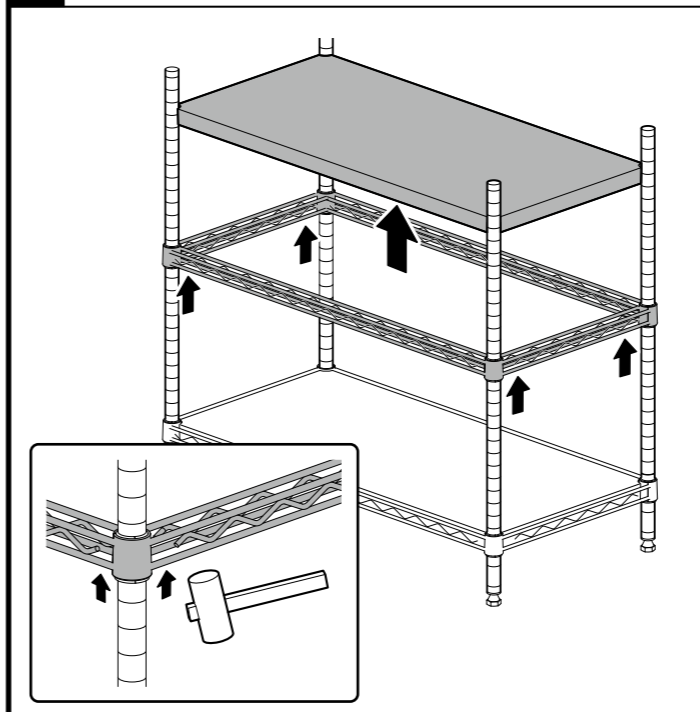
## 6 天板の取り付け ※2人組で作業されることを推奨いたします。



天板をフレームの上に乗せます。天板が落下しないよう、下面をフレームの下から通した手で支えながら天板を載せます。以後、同じ要領で天板を取り付けていきます。

**ご注意** 天板を載せる際、端を持ちながら降ろすとフレームと天板の間に指を挟む恐れがあります。必ず下面を支えながら天板を載せてください。

## 7 棚の取り外し方 ※2人組で作業されることを推奨いたします。



必ず天板を取り外してから、フレームの取り外しをしてください。天板を外さずフレームをたたくと、天板の破損につながります。

**ご注意** 指などはさまないようご注意ください。